

# 令和4年度「地域学校協働本部事業」 地域部活動等支援の取組事例

## 「地域部活動等支援活動」(福島県喜多方市)

### 取組の概要や経緯

国が示す「持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方が実現できる仕組みや環境の整備」を図るため、具体的な方策として、「休日の部活動の段階的な地域移行」を令和5年度から3年間で実施することが求められており、このことから、地域で部活動等の支援を行える体制を目指す取り組みです。



### 内容

会北中学校と高郷中学校に「部活動指導員」やスポーツや文化芸術分野の「学習支援員」を派遣し、生徒に様々な学びの機会を提供し、生徒の向上心や知識を高める取り組みを行います。



### ポイント

中学校では、生徒数の減少から部活動運営が難しくなり、生徒のスポーツ活動量も低下しています。また、スポーツクラブの活動拠点までの距離的な負担もあり、スポーツクラブに参加できない生徒も見受けられます。

このため、地域で指導者を確保し、中学校へ派遣します。

### 今後の方向性

中学校では、生徒数の減少から部活動運営が難しくなり、生徒のスポーツ活動量も低下しています。

特に、団体スポーツに関しては、各中学校では、部員が集まらず、試合にも参加できない状況であります。

今後は、地域において、合同チームの結成などを含め、地域で中学校の部活動を支援する体制づくりを構築してきます。

### 成果

中学校の部活動等に高い指導力を有した部活動指導員を派遣し、部活動の充実と顧問の負担軽減を図ることと、また、文化芸術分野の「学習支援員」を派遣し、生徒に様々な学びの機会を提供し生徒の向上心を高めることが出来ました。

- 1 会北中学校  
部活支援 26回 (卓球)  
学習支援 4回 (ダンス)
- 2 高郷中学校  
部活支援 7回 (卓球)  
学習支援 3回 (合唱、箏)